

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
蔵のまち周辺地区

平成23年 2月

愛知県半田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	来街者数	人/日	18,733	20,000	21,016	確定 見込み		あり なし	20,216	H22年 6月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	都市基盤や都市拠点の形成が図られたことが乗降客の増加につながった。
指標2	商業店舗数	店舗	235	235	251	確定 見込み		あり なし	254	H22年11月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	都市拠点機能が強化されたことが商業店舗の増加につながった。
指標3	昨の里・酒の文化館の来場者数	人/年	118,000	118,000	136,875	確定 見込み		あり なし	134,844	H22年 6月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	歩行空間の充実やPR促進が来場者減少の歯止めにつながった。
指標4	住民満足度アンケート調査	%	66.4	70.0	80.1	確定 見込み		あり なし	68.7	H 22年 4月	アンケートの主旨が対象者に伝わりにくかった。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	目標値を下回ったが、満足度の向上という目標は達したと考えられる。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	観光案内所来場者数	人/年	20,609	/	24,370	確定 見込み	/	/	29,483	H22年 6月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	快適な歩行空間の形成や定期イベントの実施が来街者の増加につながった。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年 月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年 月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	広域交流拠点の機能拡充	関係団体によるイベント・コンベンション開催のためのネットワークづくりや、誘致するための広報活動などを行った。	広報活動等により地元企業に施設等の紹介やガイドラインの周知、相談窓口の利用促進が図られた。	市内施設や地域資源、催事事業と連携し新たな誘客効果が図られる仕組みづくりが必要になる。
	駅を中心とした歩行空間の充実	名鉄知多半田駅からJR半田駅にかけて、中心市街地におけるにぎわい事業により街路灯整備や壁面修景、鉢植え花陳列などによって沿道美化を図った。	駅周辺道路の安全性向上および修景整備、花いっぱい事業などの環境美化により、歩行者空間の充実が図られた。	今後も商店街を中心とした地元団体と協力関係の継続・強化に努めていく必要がある。
	市民と観光客との交流機会の継続	地元商店街によるイベントや市民グループによるフリーマーケットなどが開催された。	イベント開催などで定期的に集客できるようになった。	今後も商店街を中心とした地元団体に対して誘客支援を行う必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	JR半田駅周辺の市街地環境改善	JR半田駅周辺における中心市街地の活性化を図るため、鉄道高架を含めた一体的な整備を推進するのに、関係機関との協議や地元住民とのまちづくりに関する勉強会の開催に努めた。	関係機関や地元との協議により、鉄道高架を含めたまちづくりの方向性や、地元住民参加による勉強会などでまちづくりに対する機運が高まってきた。	継続して関係機関と協議を進めるとともに、地元住民と協働してまちづくりを進め、早期に事業の着手から完了までを目指していく。
	市民と観光客との交流の場の創出	半田運河周辺を訪れる人たちが、まち歩きを楽しめるように、蔵などの歴史的資源を活かした景観道路整備に着手した。	半田運河周辺の魅力づくりに対する機運が高まり、周辺の清掃活動等を行う市民団体の立ち上げや、来訪者の回遊性の向上をさらに高めるため整備区域を拡大する計画につながった。	引き続き景観に配慮した半田運河周辺の道路整備を行い、来訪者の回遊性の向上を図るとともに、人々が集いイベント等が開催できる観光拠点として広場整備を行う。
	商店街の再生 低未利用地の活用促進	中心市街地内にある商店街の空き地・空き店舗を活用する事業者への補助制度を創設した。	中心市街地内にある商店街の空き店舗が徐々に活用されるようになった。	補助制度の周知や、更なる空き地・空き店舗の活用促進が図られる仕組みづくりに努める。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
半田運河周辺等における回遊性の向上	半田運河周辺のまち歩きを楽しむ人や「酔の里」「酒の文化館」等の観光施設、公共ホールを訪れる人の利便性向上のため、駐車場整備を行う。	H23	駐車場に周辺施設を紹介する観光案内板の設置が必要である。

都市再生整備計画(精算報告)

くら蔵のまち^{しゅうへん}周辺地区

あいち愛知県 はんだ半田市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	はんだし 半田市	地区名	蔵のまち周辺地区	面積	133 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標
 出会い と にぎわい あふれるまちづくり
 歴史・文化・自然等豊かな地域資源を活かし魅力ある観光まちづくりを推進することにより、住民の生活の質の向上と地域経済の活性化を図る。

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 ・2005年2月知多半島常滑沖に中部国際空港が開港することにより新たに生じる人の流れと、愛知万博の開催によりさらに加速される人の流れを最大限に活かし、空港と豊富な観光資源を持つ知多半島五市五町が一体となって知多の魅力を情報発信し、トランジット客を含む観光客の誘致を行い、地域経済の活性化を図るため地域再生計画 中部国際空港を核とする知多半島観光再生計画 を策定し、平成16年6月に国の認定を受けた。この計画では、さまざまな観光資源を有効に活かした交流の渦を巻き起こして、知多半島地域の経済の活性化と雇用の創出を図ることを目的としているものである。
 半田市には、31台の山車が春に市内各地区に別れて曳きまわされる半田の春まつり、その山車が5年毎に一堂に会し豪華絢爛に曳き回され40万人以上の観光客が訪れる「はんだ山車祭り」、童話作家で代表作「ごんぎつね」で小学校の教科書でも紹介されている新美南吉記念館、知多半島に点在している知多四国めぐりの寺院、市立の科学館、博物館、私設のかみや美術館を始め多くの観光資源を有している。
 ・本地区のうち知多半田駅前においては、平成11年度に中心市街地整備改善活性化基本計画を策定し、その内早急に活性化が必要な地区として土地区画整理事業及び、市街地再開発事業を同時施行している。また、ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業の地区指定及び、平成13年度には旧まちづくり総合支援事業の採択を受け、継続的に半田市の玄関口にふさわしい街なみの形成を図っている。
 ・地区内には、下述のとおり観光資源を有するが、施設周辺ならびに中心市街地において観光客が回遊する状況ではない。
 【赤レンガ建造物】
 明治時代に半田で創業され、当時はエビス、キリン、アサヒ、サッポロと並ぶ5大ビールメーカーのひとつであった旧カプトビールの工場であり、現存する工場が極めて少ないため、初期ビール工場の姿を伝える遺構として貴重な施設である。現存するレンガ建造物の中では東京駅、横浜赤レンガ倉庫、北海道庁に次ぐ規模を有する。
 【紺屋海道】
 古くからのまちなみの残る街道で、平成14年度より名鉄・JRのウォーキングコースになり平成15年にはウォーキングツアーの1番人気コースになるなど訪れる人の数が増加している。新規店舗の開店や、メディアへの露出もあり知名度はアップしている。
 【蔵のまち】
 環境省の「かおり風景100選」に愛知県下で唯一認定されている景観のすぐれた場所であり、醸造業をはじめとした地場産業が展開し、蔵や伝統的なまちなみが残されている。酢の里、酒の文化館といった観光施設もあるが、点在し他施設との連携が乏しいため観光バスのトイレ休憩等に利用されることが多く滞在時間が短い(酢の里、酒の文化館の同時利用は全体の20%程度)。平成14年開催時には全国から47万人の観光客を迎え入れた、5年毎に開催される半田山車祭りのメイン会場ともなる地区である。
 【旧中壱家住宅】
 旧中壱家住宅は、明治44年当時の中壱酢店社長中壱半六が建てた洋風建築で、国の重要文化財に指定され、現在はTMOにより紅茶専門店として一般公開している。
 ・本計画に関連して、JR半田駅前においては、平成22年度より土地区画整理事業(道路特会)により、都市基盤整備ならびに居住環境の改善を図る計画である。
 ・平成16年6月、まちづくり担当推進監を中心とした6課で都市再生整備計画に関する目標設定や、事業の選定作業を行いとりまとめをした。
 ・平成17年1月に運河周辺地区において、景観重点地区に指定し資源、景観の保全に努めていく。

課題
 ・都市機能面及び、景観上からも、半田市の玄関口として観光客を迎えるための広域的交流拠点の整備が必要である。
 ・運河、蔵、酢の里、酒の文化館、赤レンガ建物といった十分な観光資源を有しているが、それがまちの賑わい創出に生かされていない。
 ・本市そのものが観光都市ではなかったため、市外から訪れる人を歓迎する意識が弱く、そういった視点でのまちづくりがなされていない。
 ・中部国際空港の開港により知多半島に新たに1200万人ともいわれる人の流れが生じる。同じく愛知万博の開催によりさらに人の流れが加速することが考えられるためこのチャンスを活かし観光客の増加につなげていく必要がある。

将来ビジョン(中長期)
 <半田市総合計画>
 半田市の中心市街地の核である名鉄知多半田駅周辺の土地区画整理事業及び再開発事業を推進して高度な都市機能を誘導し、広域的な交流拠点を形成する。また、運河、蔵及び既存の民間観光施設と併せ、観光の中心地としての景観整備を図り、港から運河に至る水辺空間と蔵のある風景、赤レンガ建造物など、歴史文化を活かした魅力ある交流を演出する舞台とする。
 <半田市都市計画マスタープラン>
 名鉄知多半田駅及びJR半田駅周辺については、本市の玄関口としてふさわしい景観形成を図り、半田運河周辺区域を本市の歴史と伝統のシンボルゾーンとして位置づける。
 <半田市観光振興計画>
 半田運河と蔵のまちを活用した修景整備を行うことで、半田市を象徴するシンボルゾーンを形成する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
来街者数	人/日	鉄道の乗降客数(名鉄知多半田駅、住吉駅・JR半田駅)	現在の利用客のほとんどが通勤通学客であるため、まちの回遊性、滞留性を増すことで鉄道を利用した観光客を増加させる。	18,733	20,000 H21
商業店舗数	店舗	地区内にある中心市街地区域内における店舗数	地区内にある中心市街地区域内における店舗数の減少を抑止する。 <平成11年から平成16年にかけて5年間で59件(17%)減少>	235	235 H21
酢の里・酒の文化館の来場者数	人/年	年間来場者数	他の観光施設との連携を定着させることにより来場者の減少を抑止する <平成8年から平成13年にかけて27,149人(18.6%)減少>	118,000	118,000 H21
住民満足度アンケート調査	%	住みやすさの満足度アンケート	にぎわいを取り戻し、まちの活性化を図ることにより住みやすさの満足度を増進させる。	66.4	70.0 H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 < 半田市の玄関口にふさわしいまちづくり ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在施行中である、名鉄知多半田駅前の土地区画整理事業を早期完了し、観光客を迎え入れる体制づくりをすすめる。 ・まちのマイナスイメージとなる自転車の放置や、施行中の区画整理に伴う空き店舗、空閑地の解消を図り、商業地に連続性、賑わいをもたらす。 ・本地区内の未整備の公園を整備することにより、訪れた人に憩いの場を提供できる環境を整えるとともに、災害時における周辺住民の避難所として防災機能の充実を図る。 ・H17年度完成の市街地再開発ビルに子育て支援施設を設置し、商業施設とともに賑わい創出の起爆剤とする。 ・今後予定されているJR武豊線の連続立体交差事業及びこれに関連したJR半田駅前地区の土地区画整理において「まちづくり」計画に住民が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知多半田駅前土地区画整理事業(関連事業)・知多半田駅前地区市街地再開発事業(関連事業) ・土地区画整理(基幹事業)知多半田駅前土地区画整理)・公園((基幹事業)おおまた公園他) ・地域生活基盤施設((基幹事業)情報板、駐輪場整備) ・高質空間形成施設((基幹事業)バスシェルター、ベンチ、エレベーター(知多半田駅)) ・道路(基幹事業)(都)名古屋半田線、(都)荒古線 ・まちづくり活動推進事業((提案事業)まちづくり協議会支援事業、市民活動支援事業) ・地域創造支援事業((提案事業)名鉄知多半田駅内バリアフリー化事業(エレベーター他)) ・JR半田駅前地区土地区画整理事業(関連事業)、鉄道(JR武豊線)連続立体交差事業(関連事業) ・市民交流センター公益床取得事業(関連事業)、人工地盤(駅舎から市街地再開発ビルへ)整備事業(関連事業)、子育て支援事業(関連事業)、人にやさしいまちづくりワークショップ支援事業(関連事業)
<p>整備方針2 < 蔵のまち観光案内の充実 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の充実を図るとともに、半田運河、酢の里、酒の文化館、その他歴史文化施設など各施設をネットワークする散策ルートの策定及び明示を行い、観光客の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観重点整備事業((関連事業)運河修景整備県施行) ・地域生活基盤施設((基幹事業)情報板) ・JR半田駅前地区土地区画整理事業(関連事業)
<p>整備方針3 < 協働による"にぎわい"の創出 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の観光資源が比較的小規模であり、効果的な連携が果たされていないため、玄関口である名鉄知多半田駅から蔵のまち周辺地区、紺屋海道を通り赤レンガ建造物、旧中壱家住宅に至るルートを一連の観光施設として定着させるため、各所への案内板の設置に合わせ、官民協働による各種PRイベントを催すことによりまちの回遊性、滞留性を増進させる。 ・はんだ山車まつりを平成19年度に開催するため、半田のみならず知多半島の魅力を最大限アピールする各種イベントを展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵のまち協働まちづくり事業((関連事業)雛祭り、端午の節句、夏祭り、イルミネーション他) ・地域創造支援事業((提案事業)有形民俗文化財保存伝承事業) ・はんだ山車まつり実施事業(関連事業) ・紺屋海道協働まちづくり事業(関連事業) ・赤レンガ特別公開実施事業(関連事業) ・地域生活基盤施設((基幹事業)情報板)
<p>その他</p> <p>< 交付期間中の計画の管理について ></p> <p>交付期間中において、事業の円滑な進捗と目標として掲げた「住民の生活の質の向上と地域経済の活性化を図る」ため、まちづくり推進監を中心とした庁内体制作りをし、計画の管理実施、関係他団体との連絡協議、進捗途中での事業の再評価等と共に住民への広報活動を続けていく。</p> <p>< 事業終了後の継続的なまちづくりについて ></p> <ul style="list-style-type: none"> * 中心市街地活性化のための継続的な支援 <p>平成11年度に設立された、タウンマネージメント半田(TMO)と共に、市民、商業者と一体となって各商店街リノベーション事業、空き店舗対策、花いっぱい運動等ソフト事業を中心とした取り組みを支援していく。</p> * 施設の清掃等への住民参加(半田クリーンボランティア) <p>自分の部屋や家などをきれいにするように、子供のように愛着をもって公共施設もきれいに、との観点から半田市では平成12年度より市民に公共施設の里親になってもらい、ボランティアで公共施設の管理と美化をお願いする里親制度を開始しており、市民が自分たちの手で行うまちづくりのバックアップを続けていく。</p> * 美しい景観作りのために <p>良好で快適な景観の維持には、市民と力を合わせることで成り立つものであり、平成16年度半田運河周辺地区を景観重点整備地区に指定し、地区住民の意見を聞きながら地区の特性を活かした景観作りのための計画等を定めていく。また、景観アドバイザー制度により、継続的に美しい景観作りを支援していく。半田市都市景観基本計画は、平成5年3月に策定している。</p> 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,641	交付限度額	630	国費率	0.384
---------	-------	-------	-----	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
道路	(都)名古屋半田線	半田市	直	L=100m	H17	H21	H20	H21	85	85	85		85	
	(都)荒古線	半田市	直	L=100m	H18	H21	H18	H21	208	208	208		208	
公園	おおまた公園	半田市	直	1,200㎡	H19	H19	H19	H19	18	18	18		18	
	こうせい公園	半田市	直	4,200㎡	H21	H21	H21	H21	53	53	53		53	
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム	-			-										
地域生活基盤施設	-	半田市	直	-	H18	H20	H18	H20	20	20	20		20	
高質空間形成施設	-	半田市	直	-	H18	H19	H18	H19	195	195	195		195	
高次都市施設	-			-										
既存建造物活用事業	-			-										
土地区画整理事業	知多半田駅前地区	半田市	直	17.7ha	H10	H19	H17	H19	554	554	554		554	
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									1,133	1,133	1,133		1,133	

...A

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業	有形民俗文化財保存伝承事業	はんだ山車まつり保存会	間		S55		H17	H20	229	229	49	180	49	
	知多半田駅内バリアフリー化事業	名鉄知多半田駅	半田市	直	H18	H18	H18	H19	729	729	441	288	441	
まちづくり推進活動事業	市民活動支援事業	知多半田駅前地区	半田市	直	H17	H21	H18	H21	7	7	7		7	
	まちづくり協議会支援事業	JR半田駅前地区	半田市	直	H16	H21	H19	H21	11	11	11		11	
合計									976	976	508	468	508	

...B

